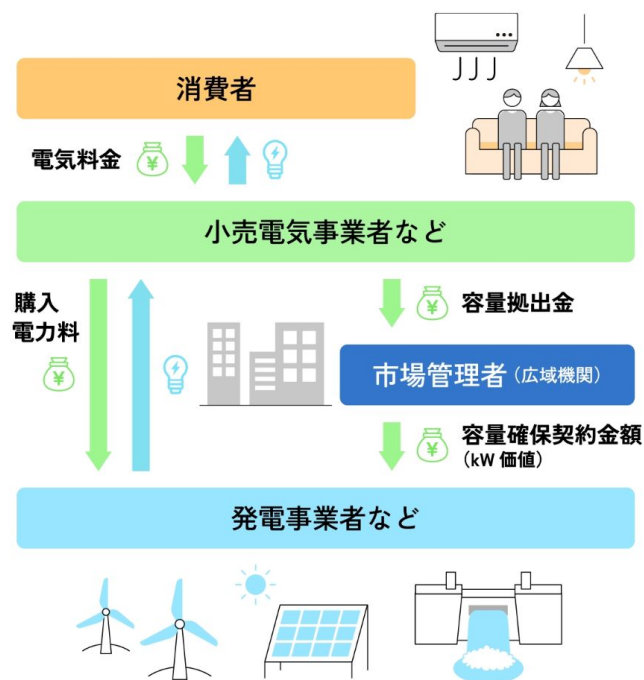




# 容量市場についてのご案内



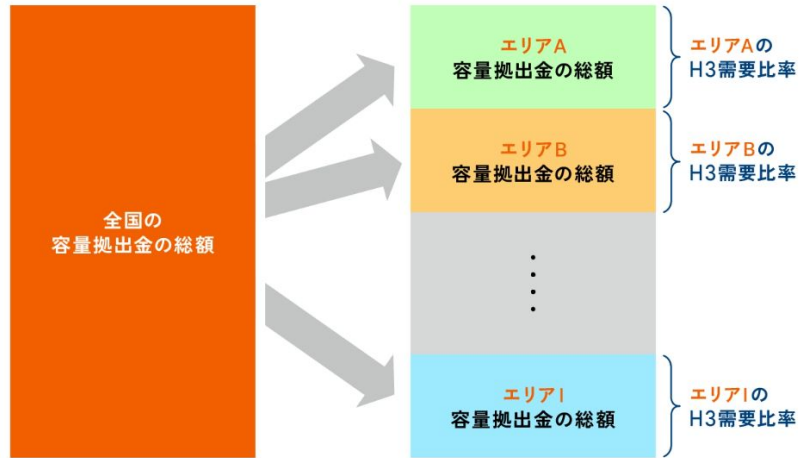
2024年度より、当社をはじめすべての小売電気事業者に容量拠出金の支払いという義務が新たに発生します。電力広域的運営推進機関(OCCTO)を通じたこの制度は、電力供給の信頼性を高めるとともに、将来的な電力不足のリスクを軽減することが目的です。当社もこの新しい市場構造に適応し、お客様に安心してご利用いただける電力を提供するために努力を続けます。詳細は電力広域的運営推進機関が公開している[こちらのページ](#)をご覧ください。



出典  
[https://www.occto.or.jp/capacity-market/kyoshutsukin\\_know](https://www.occto.or.jp/capacity-market/kyoshutsukin_know)

容量市場の導入の背景として、再生可能エネルギー導入拡大の影響があげられます。化石燃料などのエネルギー資源が乏しい日本では、全国的な原子力発電の停止以降、太陽光や風力発電などの再生可能エネルギーの導入拡大が進みました。これらの電気は発電量が不安定なため、安定した電力供給を推進する仕組みが必要になりました。

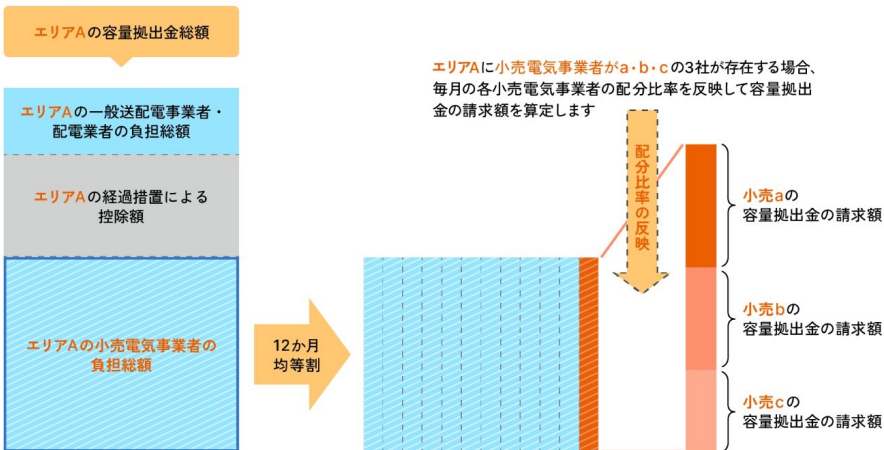
需要のピーク時に十分な発電能力を確保するため、発電事業者に対して安定供給を約束させ、需要家に確実な電力供給を確保することが容量市場の目的です。



容量市場のオークション結果に基づいた全国の容量拠出金の総額をエリア別のH3需要※1比率に応じて各エリア※2に配分して算定します。  
 オークション結果は[こちらのページ](#)をご覧ください。

※1 電力のピーク時の電力需要を指します

※2 北海道から九州までの沖縄をのぞいた9エリアを指します



各小売電気事業者の請求金額は当該エリアの全小売電気事業者の負担総額を12ヶ月で割り、各小売電気事業者の毎月の配分比率を反映して算定します。

出典 [https://www.occto.or.jp/capacity-market/kyoshutsukin\\_know](https://www.occto.or.jp/capacity-market/kyoshutsukin_know)

## ●容量拠出金反映額

容量市場の開始にともない、当社は毎月の電気代の一部として、新たに以下の算式により算定する容量拠出金反映額を、すべてのお客様に対してご請求致します。

$$\text{容量拠出金反映額} = (\text{容量拠出金反映基礎額単価} + \text{容量拠出金反映調整額単価}) \times \text{契約電力(kW)}$$

## ●契約電力(kW)について

### 使用電力量(kWh)とは異なります

契約電流(A)、契約容量(kVA)でご契約のお客様は、10A=1kW、1kVA=1kWと致します。  
 契約電力、契約電流、契約容量の定めのないメニューについては別途ご案内致します。

## ●容量拠出金反映基礎額単価と容量拠出金反映調整額単価

容量拠出金反映基礎額単価:

年度ごとに単価を定めます。2024年度の容量拠出金反映基礎額単価は下表のとおりとなります。

容量拠出金反映基礎額単価	136円/kW(税込)
--------------	-------------

容量拠出金反映調整額単価:

容量拠出金反映額として当社がお客様にご請求した金額から当社が広域機関より請求される容量拠出金の金額を引いた金額を元に、その差額調整を目的として各算定期間ごとに単価を定めます。

容量拠出金反映額の計算方法は以下のようになります

## 例① 契約電流が30Aの場合

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{容量拠出金} \\ \text{反映額} \\ \hline \text{423円} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{契約電力} \\ \hline 30\text{A}=3\text{kW} \\ \hline \end{array} \times \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{容量拠出金反映} \\ \text{基礎額単価} \\ \hline 136\text{円} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{容量拠出金反映} \\ \text{調整額単価} \\ \hline 5\text{円}^* \\ \hline \end{array} \right)$$

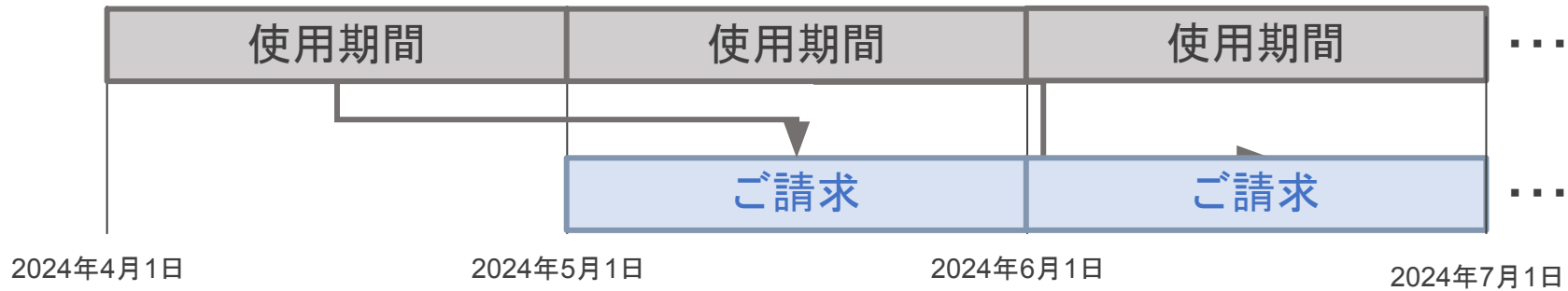
## 例② 契約容量が5kVAの場合

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{容量拠出金} \\ \text{反映額} \\ \hline \text{705円} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{契約電力} \\ \hline 5\text{kVA}=5\text{kW} \\ \hline \end{array} \times \left( \begin{array}{|c|} \hline \text{容量拠出金反映} \\ \text{基礎額単価} \\ \hline 136\text{円} \\ \hline \end{array} + \begin{array}{|c|} \hline \text{容量拠出金反映} \\ \text{調整額単価} \\ \hline 5\text{円}^* \\ \hline \end{array} \right)$$

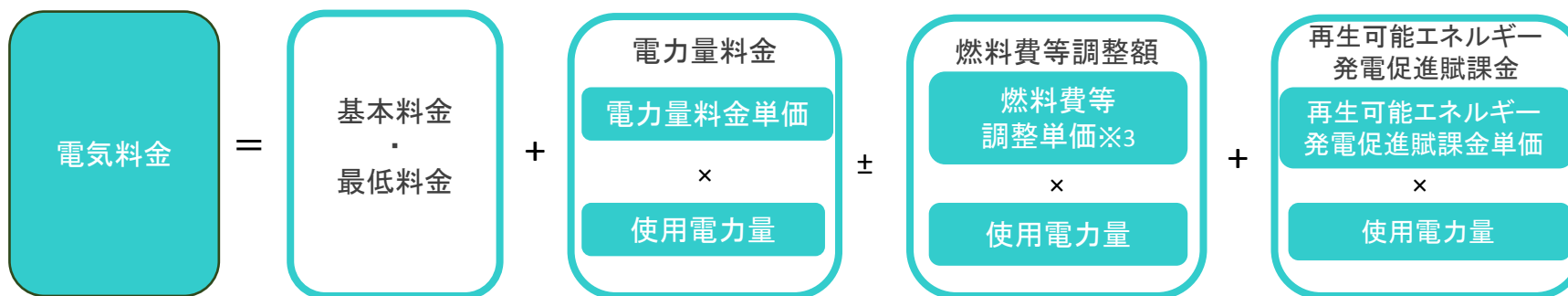
※容量拠出金反映基礎額単価は2024年度のものです  
 容量拠出金反映調整額単価は仮の数字となります

2024年4月の検針日以降の電気使用分より適用いたします。  
初回のご請求は2024年5月分となります。

(例)

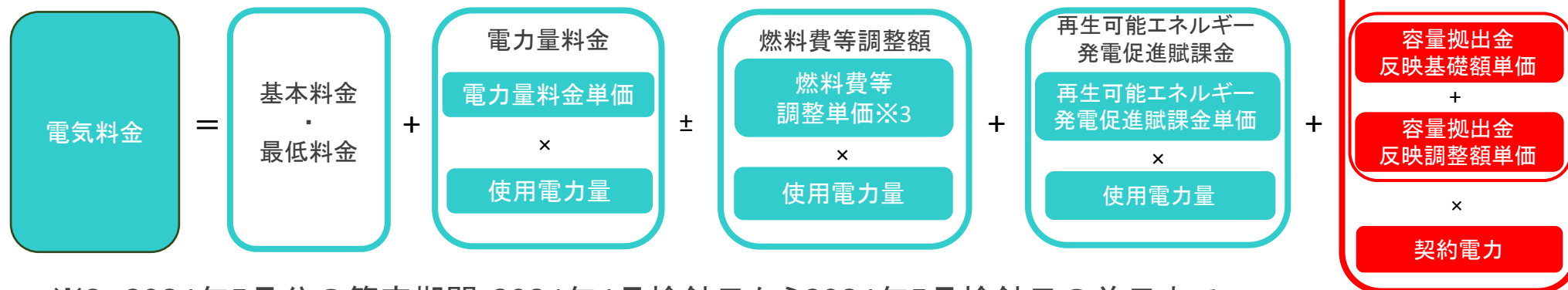


<追加前>2024年4月分※1以前に適用される電気料金



※1 2024年4月分の算定期間:2024年3月検針日から2024年4月検針日の前日まで

<追加後>2024年5月分※2以降に適用される電気料金



※2 2024年5月分の算定期間:2024年4月検針日から2024年5月検針日の前日まで

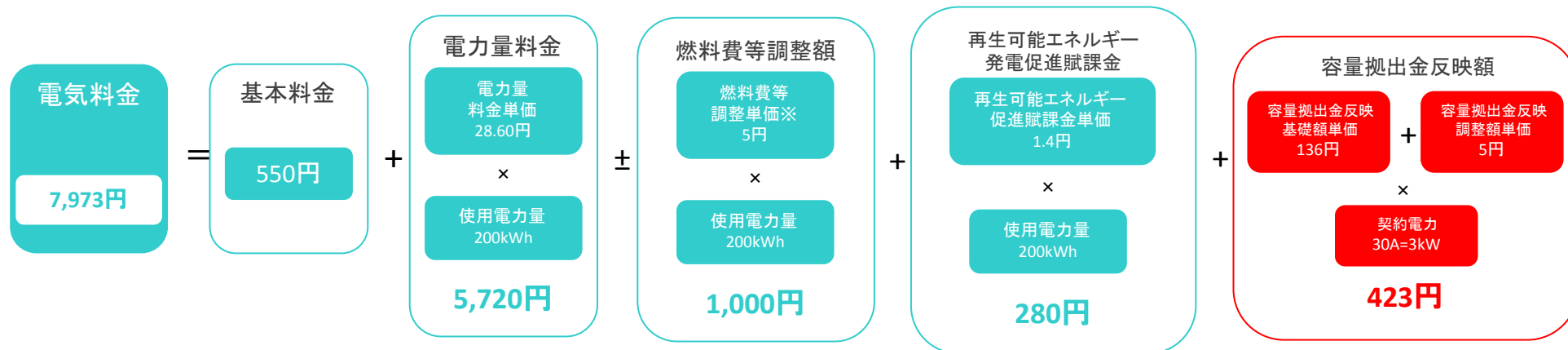
※3 「燃料費等調整単価」は「燃料費調整単価」と「電源調達調整単価」を合計したものをいいます



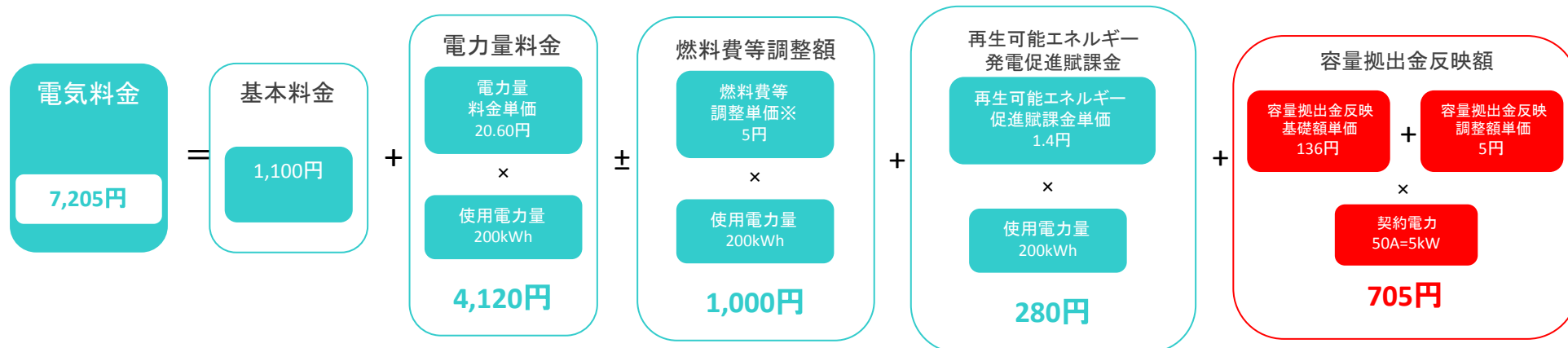
電気料金の計算方法は以下ようになります

各例における基本料金、電力量料金単価、燃料費等調整単価、容量拠出金反映額調整単価は仮の金額です  
基本料金、電力量料金単価の金額はご契約のプランに準拠します

例① 契約電流が30A、使用電力量が200kWhの場合



例② 契約容量が5kVA、使用電力量が200kWhの場合



※ 「燃料費等調整単価」は「燃料費調整単価」と「電源調達調整単価」を合計したものをいいます